

教材解釈

この場面は、おかみさんが山に戻ってきて、部屋の中をみて驚いたところである。それは「あったのです」という表現からもおかみさんのかなりの驚きが伺える。そこで、おかみさんは何に驚いたのかを確かめると、子どもたちは①山のような糸のたばがあること②まきかけた糸までかかっていたこと という2つを読みとった。ここではさらに「まきかけた」という表現にも着目し、かかっていることの驚き+それをついさっきまで今誰かが使っていたから驚いた、ということにも着目させた。このさっきまで使っていたということをおさえることで、ついさっきまでやっていたのならば、おかみさんに見つかることを恐れて帰ってもかまわないはずだ、しかし、なぜ隠れたのにまたわざわざ出てきて糸車を回しはじめたのか、という新たな疑問が出てくるのでないかと考えた。それくらいここでは、糸車を回したくて回したくてたまらないということ、夢中であるということが伺える。

さらに、読み進めて行く中で、おかみさんは音が聞こえてきたことにも驚いている。しかし、驚いているのは音だがしたことだけであろうか。この「キーカラカラキークルクル」という表現は2回目の登場である。1回目は、おかみさんが糸車を回していた場面。この糸車の音は、1回目するとき（おかみさんの紡ぐ音）と2回目（たぬきの音）とでは同じなのだろうか。ということについても考えた。子どもたちはおかみさんのように上手くできるわけがない、見ていただけだから無理、という意見が大半であった。しかし、この冬の間、たぬきはずっとずっと練習をし、さらに、おかみさんと同じような「じょうずな手つき」になるくらいレベルが上がっていることが分かる。このことから、たぬきが糸車を紡ぐ音は、おかみさんと同じような音で紡げていたはずだ。おかみさんは音が聞こえてきたことともう一つ、自分と同じような音の糸車の音が聞こえてきたことにもびっくりしたということが考えられる。

本時の授業記録

前時までの内容確認

t 1 : じゃあどんななぞが出てきたのか思い出してみるよ。かんとくん来たし教えてあげて。行ってみるってどういう意味？教えてあげて

かわら : 行くってこと。

t 2 : それは行くやんな。行ってみるってどういうこと？

きいち : 行ってみる

t 3 : どういうこと？

まひろ : たしかめる

りょうすけ : 行って確かめる

まひろ : 見るじゃなくて、確かめる

t 4 : やってみるはできるかどうかを確かめるってことやんな。食べてみるは、食べれるかどうかを確かめる。

歌ってみる。歌えるかどうかを

c 1 : 確かめる。

t 5 : じゃあおかみさんが確かめたかったことは、みあちゃんゆってたけど、

しゅうじ : たぬきがわなにかかっているかどうか

t 5 : っていうのを確かめにいった

c 2 : うん。

まひろ : 違うかもしれんけど行った。

りんた；もしもたぬきやって、木こりが先に行ったら殺されるから

c 3：そうそうそう

りんた：おかみさんは、たぬきがかかって、きこりが先に行ったら殺されるかもしれないから、怖いけど自分1人でたぬきがわなにかかっているかどうかを確かめにいった。

c 4：そうあってるあってる

t 6：そこまでOK？

c 5：OK

t 7：な、そのあとだ。村に下りて

c 6：またきこり

t 8：どれくらいやったけ？

c 7：2月か3月

t 9：何ヶ月くらい

c 8：3ヶ月くらい

t 10：3ヶ月くらいして帰ってきておきみさんはおどろいたんだよね

しゅうじ：びっくりした

t 11：うんびっくりしたんだ。思い出してみよう。何にびっくりしたの？

まひろ：僕が発表したやつ

しゅうじ：ツリーくらい

すずは：ツリーなんかなくて

なおり：おかみさんが帰ってきたら、自分はまいてないのに、何か勝手にまいてあった。

c 9：糸がかかってびっくり

りんた：白い糸のたばが山のようにつんであってびっくりした

t 12：こことこってこと？

「～のです」という書き方からおかみさんの驚きを読みとる

t 13：じゃあいつものやついくよ。なんでこんな書き方してるのかな。この言葉でもいいのになってちはちゃんがよく言うやつ。それ見つけてね。

c 10：ええなんやろ。

t 14：いたのまに、白い糸の束が山のようにつんであったのです。

そうま：つんでありましたでもいい。

ちは：ああ

t 15：そうまくんどうぞ。そうまくんもう一回ゆってあげて

まひろ：めっちゃいいつばやき

t 16：うん、今のつばやきよかったね

そうま：つんであったのですのところは、つんでありましたでもいい。

c 11：そうそうそうそうそう

t 17：ちはちゃんみたい。ナイス！これ。

すずは：びっくりしたとき

t 18：あ、すずはがなんかゆった。聞こえた人。もう一回ゆって。

すずは：びっくりしたときに使う。

まひろ：びっくりしたとき

ちは；ありまじただったら驚いた感じにならへん

しゅうじ：驚いた感じになつた

t 19：分かる？

すずは：あつたのですは、びっくりしたときに使う。ありまじたは普通のとくに使う。

t 20：できました、と できたのです。どつちがびっくり？

かんだ：やつたやつた

ちは；できたのですの方がいい

t 21：なわとびできましたとなわとびできたのです。

ちは：嬉しい感じ楽しい感じびっくりした感じがする。

t 22：そうね。ここでは楽しいじゃなくて

c 12：びっくりした感じ。

t 23：びっくりした感じやね。驚きまじたもびっくりやし、あつたのですも

c 13：びっくり

かいせい：あつたのですは大きく言う

t 24：ああ音読のとくに？かいせいくんもう一回ゆつて

かいせい：あつたのですのところは大きい声でゆう

t 25：つんであつたのです！そうねここびっくりした感じで、つんであつたのです！！

かんだ：お菓子がつんであつたのです！！

しゅうじ：おかしが山のようにつんであつたのです

t 26：よし。ほんでちはさんがゆつてた

c 14：そのうえ

りんだ：ほこりだらけのはすなのに

t 27：まきかけた糸までかかっていますってゆつたときに、なんでこれにびっくりしたんだらうって考えたんな。

しゅうじ：自分がやつてないのに

まひろ：少なくとも頑張つて発表してる

しゅうじ：まひろくん！！

まひろ：ごめんね

しゅうじ：いいよ。

t 28：笑

ゆう：自分はやつてへんのつんであつたから。

c 15：がやがやがやがや

t 29：口々口々

しゅうじ：自分でやつてたら思い出す

りょうすけ：自分はやつてないのに、やつてあつたことが不思議

あつし：最初そこにおいてあつたからあの、最初おうちにあつたものがあの、どっかいつたら、なくなつてるとか

t 30：なくなつてるとどういふこと？

かんだ：あつしくんがいいたいことは。。

t 31：ちよつと考へてからにする？

りんだ：先生かんだくん、あつしくんがいいたいことわかるつて

かんだ：折り紙おいておいてどっかいつて家に帰つてきたらなくなつてると一緒。つてこと

りんた：あつしあってるの？

あつし：ちがう。笑

たぬきがこの糸車を最後に使っていたのはいつなのか？→ まきかけた という表現に着目

t 32：じゃあきいていいですか？じゃあこれ。糸がかかってこの糸は最後いつ使ったの？って話した。

c 16：今。

t 33：なおりちゃん振り返りに書いてたね。なんで今ってわかったの？

なおり：おかみさんが帰ってきてドアをあけて、その音が聞こえたから、たぬきは、糸車を回してて、おかみさんが帰ってきて糸車を回してるのがばれたらあかんから、どっかに隠れて、おかみさんがどっかいたらまたでてきた。

c 17：そうそうそうそう

t 34：ってゆったらまひろくんが何かつぶやいたんで。覚えてる？隠れたんでしょ？

まひろ：先生よく覚えてるな。

しゅうじ：でも出てきた。

ゆうや：ばれたらあかんのに出てきた。

しゅうじ：きこりに見つかったらばれるのに出てきた。

t 35：なんで出てきたのかって話してたんだ。もう1こ。今なおりちゃん、おかみさんがいなくなったらすぐ出てきたんやってゆったやろ。だから糸車を今まで使ってたってゆったんやけど、もう一個証拠がある。

c 18：え？

t 36：だって確かにたぬきはいたよ。でも今使ってたかどうかってわからんくない？ただただけかもしれんやん。まだ部屋のなかにいる。で、おかみさん来てしまったと思って隠れた。でもおどっか行ったと思って出てきた。かもしれないやん。今の今まで使ってたって書いてないよね。

c 19：書いてない。

t：いたことはわかる。でも今使ってたかどうか。大きい証拠がもう一個あります。

c 20：えええ

t 37：たった今まで使ってたていう証拠。

t 38：ほこりだらけのはずの糸車にはまきかけた糸までかかっています。この中

c 21：かけた？

c 22：かけてあった？

c 23：まきかけた糸までかかってた

c 24：わかったかも

t 39：もうちょっと短く

かいせい：まきかけた

さほ：まきかけた

しゅうじ：まきかけた糸まで

t 40：これや。かけた。例えば。

c 25：タオルとか。

t 41：あ、そっちのかけたってこと？じゃあ何々しかけたで、文を作ってみよう。

かいせい：わなをしかけた

まひろ：洗濯物をかけた

t 42：そのかけたじゃなくてね。ごはんを食べかけた。これってこっちのかける？

かんだ：ちがう。ちょっとだけ食べた

ちは：途中で終わってる

まひろ：食べかけ。

t 43：それっていつ食べてるの？

かんだ：さっき

t 44：さっきだよ。じゃあ次。飲みかけのジュースだ。

ゆう：さっき

かんだ：これもさっき

りんだ：ちょっとだけなんで

t 45：なにになにしかけたって、ハンガーにかけたと同じ？

c 26：違う

ゆう：さっきやったってこと

t 46：わかる？もう一回ゆえる人。

きいち：さっき飲んでまた飲んだ。

ゆう：違う。さっきやった

りんだ：そうそうそうそう

t 47：反応ない人どっち？分かった？さっきってことやろ？

かんだ：だからたぬきは糸車をさっきまで回してた

t 48：さっきまでやって置いていたってことやな

まひろ：さっきまでやっておかみさんが来たからやめた

t 49：じゃあさっきもうやったんやろ？やったんやったらもういいやん。で。ここ聞いたんだ。なんで出てきてやったの？ってきいたら

c 27：お礼

りんだ：おかみさんにお礼が言いたいけど、しゃべれへんから糸車を回してお礼

t 50：2番。いや何か糸車が好きなんちゃう。夢中なんちゃうって。これちょっと人数ききたいんやけど、メンバー少ないからどうしようかな。

c 28：ええええ

t 51：じゃあ一応きこうかな。明日も一応聞くけど。

支持確認 たぬきは隠れたのに、なぜまた出てきたのか？

① おかみさんにお礼がしたいから 10人

② 糸車に夢中だから 11人

t 52：半々くらいかな。じゃあいくよ。まだこれよくわかんないからおいとくね

すずは：③があるかも

りんだ：先生ゆうちゃんが③番あるって

ゆう：振り返りに書いた。糸車をやってみたかったから。

t 53：ああほなこの夢中に付け加えやな。じゃあこの謎を解決するために、次のところをみていきます

かんだ：いえええい

たぬきの回した糸車はどんな音だったのか？

t 54：きーくるくるくるびっくりしてふりむくと、いたどのかげからしっぽがちらりと見えました

c 29 : ちらりって何？

c 30 : ちょっとしか見えてない

かんだ : びっくりがまた出てきた。

t 55 : またやな

c 31 : びっくーーーり

t 56 : びっくりしました。何にびっくりしたの？

c 32 : 音が聞こえてきた

かんだ : 誰もいないのに

しゅうじ : 誰もいいひんのに糸車から音が聞こえた

ちは : 誰もいないのに

かんだ : きこりかもしれんで

ちは : きこりは糸車できるかわからんやん

t 57 : じゃあきいていい？どんな音？読んでくれる人？おかみさんがびっくりした音ってどんな音？

まひろ : キーカラカラキーカラカラ

かんだ : ちょっとでかい

まひろ : だってびっくりするなら大きい音やん

t 58 : もうちょい聞いてみよ

まひろ : みんな！すぐむいて！

c 33 : りんたろう鉛筆おいて！

かわら : キーカラカラ

ゆう : ちょっと高い

t 59 : スピードどうだった？

c 34 : はやかった

そうま : キーカラカラキーカラカラ

c 35 : なんかのばしてる

まひろ : キーのところが高い

t 60 : ゆっくりだったね

まひろ : 速かったらきこえへんかも

すずは : キーからから。はねてる感じ

t 61 : じゃあこの音がどんな音だったかを考えたいと思います。この音てさ、どっかででてこなかった？

c 36 : 最初の方

ゆう : おかみさんのとこ

かいせい : おかみさんが回してるところキーカラカラ

c 37 : たしかに

t 62 : ゆうちゃんもう一回ゆって

ゆう : 最初おかみさんが回してたところ

しゅうじ : 最初おかさんが回してた

t 63 : じゃあ考えてみようか。ここ2回目やな

かいせい : おかみさんが回してる音とたぬきが回してる音。

かんだ : が、同じ音ってこと？

t 64 : おんなじ音なんやろか？

かんだ : だって同じいたのまでやってるから

ちは：でも同じいたのまでやってるからって同じ音とはかぎらんで

t 65：じゃあこの音で、おかみさんと同じ音なのか違う音なのかどっちやろ？

かんだ：はじめてやから。。。。

t 66：きめてね。今1人1人よんだだけでも、全然違ったよね。この音がおかみさんと回してた音と同じ音同じ速さなのか。それとも違う大きさに違う速さなのか。決めた？

支持確認

① 同じ音 1人

② 違う音 20人

ちは：多いからあってるってわけじゃないで

t 67：違うと思う人なぜ？理由は？

よしの：たぬきはそんなに知らない

かんだ：おんなじおんなじ

t 68：そんなに知らないってどういうこと？

きいち：今までやったことないし今まで見てただけやからやり方があんまりわからん

c 38：そうそうそう

かんだ：初めてやから

まひろ：まったくおんなじにはできひん

かわら：見ててやってたてことは、自分の手でやってたってことやん？

かんだ：初めてでは見ただけではできひん

りんた：見ただけちゃうやん見ながらこうやってんで

かいせい：初めてやったならおかみさんと同じ音はだせへんはず

しゅうじ：できると思った？

かいせい：だって今まで1回もやったことない

そうま：おかみさんみたいないつもやっているおかみさん。1回も全然やってないから

c 39：上手

まひろ：プロみたい

t 69：ああプロね

かいせい：たぬきはプロじゃなくて

さほ：今そうまくん

そうま：音がでないかもしれないし、高すぎる音もでるかもしれん。

しゅうじ：自分はできると思った？

かいせい：自分はできると思った

t 70：すずはさんなんて？

すずは：先生やっぱり同じ音にする

t 71：なんで？

すずは：だってさおかみさんがやってるところをいつも見てるならやり方わかるはずやし同じ音するかもしれん

かんだ：やっぱりばえる

t 72：ゆうちゃんはなんで？

りんた：かえんの？

ゆう：だっておかみさんと音と一緒にやったから（書き方が同じ）

かんだ：1番最初にきてまねしてたから

まひろ：でも手で回すだけやろ？

t 73：そうなあ手で回すまねだけで上手になるかってみんなゆってる

しゅうじ：いきなりうまくなるかなあ

t 74：みんなピアノひくまねだけで上手になる？

c 40：ならんならん。音がないもん

ゆうや：おかみさんも練習してできた。

ちは：でも最初はたぬきと一緒にできひんかった。

t 75：うん。でも今たぬきの話な。

かんだ：でもまきかけたって書いてるから、たぬきはさっきやったん違う？

まひろ：まきかけるってことはできるってこと。

t 76：できるってこと？

c 41：うんうんうん

t 77：ここにやり方わかってへんやんとか初めてさわったんちがう？とか出てきたけど

c 42：がやがやがやがや

まひろ：まきかけてるってことはできるってこと

t 78：じゃあ。

りんだ：おかみさんたちがいないの2、3ヶ月あるからその間に上手になったかもしれんやん。

c 43：練習して上手くなる

たぬきはどのくらい糸車を紡ぐのか上手になっていたのかを考える→ じょうずな 手つき に着目

t 79：おかみさんはめっちゃプロやねんな。たぬきのレベル探そう、どのくらいのレベルなんやろ。このあとから。しっぽがちらりと見えましてから、探して探して。

c 44：え。どこやろ

c 45：数字書いてないしな。

t 80：そっとのそくとのところから。

ゆう：わかったわかった

かわら：ほくも

c 46：あ、わかった

さほ：じょうずな手つきってかいてある

c 47：そうそうそうそう

まひろ：上手ってことは上手いってことや

c 48：おんなんじ

t 81：じゃあこのレベルはおかみさんと

c 49：同じくらい

まひろ：プロのちょっとしたくらい

かんだ：手つきってどういくこと？

t 82：おかみさんはきつとずっとずっと何年もやってたってことやんね。たむきがやってたのは

c 50：3ヶ月くらい

t 83：3ヶ月くらでおかみさんと同じレベルの音が出るってことは

c 5 1 : 朝から晩までやってる

c 5 2 ; 寝ないでやってるかも

t 8 4 : ということは、

さほ : 糸車に夢中

t 8 5 : これ1番か2番かってゆったら

c 5 3 : 1番

まひろ : なんか理由があるとやっぱり意見変わる

t 8 6 : そやね、そやね。今合ってた合ってないが大事なんじゃなくて、今まひろくんみたいにああそういうことかって考えることが大事。2番とおもっててもいいの。理由をきいてああそうか、って思うことが大事。勝ち負けじゃないよ。これ、めっちゃすごい発見やし、明日休んでる子に教えてあげような。